

☆ねらい

教科書の本文を対話形式に書き換えることによって、たずねる力（疑問文作成力）が高まり、対話をする際の、たずねたり応答したりする場面で、役立たせることができる。

☆扱う場面

全学年対象、教科書本文指導時、またはそのまとめ段階

（この活動は、本文がMonologueタイプが適している。）

☆指導の手順と留意事項

学習活動	指導の仕方・留意点等
① 英文を黙読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・Q文のパターンに慣れさせる。 ・内容を把握しながら読むように指示する。
② 説明を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態や英文内容に応じて、説明が必要であればおこなう。
③ 英文を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を感じ取りながら音読するようにアドバイスする。
④ Q文を考えるためのアドバイスやヒントを聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・「Aさんが何かたずねたら、Bさんがワークシートの右のように答えた」とします。Aさんは何と聞いたのか、Wh-疑問文やHow疑問文で書いてみよう。 ・まずは例を挙げるとよい。 例) 英文番号①②はBさんが自分がしたことを話していますね。 「私は先週の日曜日……をした。」ということは、Aさんは「あなたは先週の日曜日に何をしたの?」とたずねたのでは?と考えるとよい。 Aさん: What did you do last Sunday? ・難しい際は、教師からヒントを与えていくとよい。
⑤ Wh-疑問文やHow疑問文を使ってAさんのセリフを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・時制に合わせての疑問文作成が難しそうな場合は、ヒントやアドバイスを与え、考えやすいように支援する。 ・大きな視点からたずねる言い方→「何をしたの?」 ・細かな視点からたずねる言い方→「彼らはどこに座りましたか?」

ワークシートの一部抜粋より

Aさん	Bさん
What did you do last Sunday?	① I went to Sakura Park with my friends last Sunday. ② We saw a lot of people there about noon.